

## エチレンセンター 11社の収益状況について (平成20会計年度)

平成21年6月16日  
製造産業局化学課

平成20年度のエチレン生産量は、世界の金融資本市場の危機の影響や原油価格の乱高下など、過去に類をみない混乱による景気の下降を背景に、各エチレンセンターとも稼働率が低下し、688万2千トン（対前年同期比11.1%減）と大幅に減少した。

平成20会計年度のエチレンセンター11社の石油化学部門の売上高は、ナフサ等の原油価格の高騰による販売価格の上昇があったものの、年後半の国内外の需要が大幅に減少したことから、4兆4,696億円（対前年同期比15.3%減）と大幅な減少となった。

一方、経常利益は、年後半の国内外の需要が大幅に減少したことにより、1,825億円（対前年同期比186.6%減）となった。

この結果、売上高経常利益率は4.1%と前年同期に比べ8.1ポイントの減少となった。

### エチレンセンター11社の石油化学部門の収益推移（単独ベース） (単位：億円)

年度		15	16	17	18	19	20
石油化学部門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	27,478 (+5.9)	34,199 (+24.5)	39,634 (+15.9)	45,365 (+14.5)	52,744 (+16.3)	44,696 (-15.3)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	709 (+15.7)	2,156 (+204.1)	1,770 (-17.9)	2,455 (+38.7)	1,900 (-22.6)	-2,015 (-206.1)
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	654 (+51.6)	2,132 (+226.0)	1,753 (-17.8)	2,725 (+55.4)	2,108 (-22.6)	-1,825 (-186.6)
	売上高経常利益率 (%)	2.4	6.2	4.4	6.0	4.0	-4.1
全社	売上高 [億円] (前年同期比:%)	40,148 (+5.0)	47,985 (+19.5)	54,930 (+14.5)	61,927 (+12.7)	69,530 (+12.3)	59,991 (-13.7)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	1,369 (+3.8)	2,963 (+116.4)	2,557 (-13.7)	3,448 (+34.8)	2,298 (-33.3)	-2,111 (-191.9)
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	1,322 (+11.5)	3,111 (+135.3)	2,693 (-13.4)	4,059 (+50.7)	2,721 (-33.0)	-1,590 (-158.4)
	売上高経常利益率 (%)	3.3	6.5	4.9	6.6	3.9	-2.7

(平成20年度集計対象)

出光興産(株) <石油化学部門>、大阪石油化学(株)、山陽石油化学(株)昭和電工(株)、新日本石油(株) <石油化学部門>、住友化学(株)、東ソー(株)、東燃化学(株)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)

【参考】

エチレンセンターの石油化学部門の収益推移（連結ベース）

（単位：億円）

年度		1 5	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
石油 化学 部門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	37,542 (+4.2)	46,386 (+23.6)	55,179 (+19.0)	63,184 (+14.5)	72,364 (+14.5)	66,426 (-8.2)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	1,380 (+11.7)	3,338 (+141.9)	2,946 (-11.7)	3,856 (+30.9)	2,973 (-22.9)	-2,034 (-168.4)
	売上高営業利益率 (%)	3.7	7.2	5.3	6.1	4.1	-3.1

注) 連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

（平成20年度集計対象）

旭化成（株）＜ケミカルズ部門＞、出光興産（株）＜石油化学製品部門＞、昭和電工（株）＜石油化学部門＞、新日本石油（株）＜石油化学製品部門＞、住友化学（株）＜石油化学部門＞、東ソー（株）＜石油化学部門＞、東燃ゼネラル（株）＜石油化学製品部門＞、丸善石油化学（株）、三井化学（株）＜基礎化学品、機能材料部門＞、三菱化学（株）＜石化部門＞